

経済産業省・中小企業 開発力で高機能の中型・普及が期待」と紹介され、御池鐵工所は「リサイ

久慈市小久慈町2の2の 15)、未利用木質資源で あるパーク(樹皮)チップ

を活用した舗装を開発 した埼玉木材チップ協同 組合(埼玉秩父郡長瀬

町大字矢那瀬480)、 地元米を使用した食品を 開発した三州製菓(埼玉

玉泉春日部市銚子口97 9)、農産物加工品の開 発と販売を通じて高齢者

が輝く場を創出している 小川の庄(長野県上水 内郡小川村大字高府28

76)、ベトナムに日本 産の特産品を輸出する 石垣島特産の材料「沖縄

紫」を利用した「紅いも 菓子」の製造販売を行っ ている八重山南風堂(沖

縄県石垣市真栄里2 04の384)などが 選ばれている。

御池鐵工所(小林由和 社長・広島県福山市神辺 町川南396の2)など が選ばれた。

御池鐵工所(小林由和 社長・広島県福山市神辺 町川南396の2)など が選ばれた。

御池鐵工所(小林由和 社長・広島県福山市神辺 町川南396の2)など が選ばれた。

御池鐵工所(小林由和 社長・広島県福山市神辺 町川南396の2)など が選ばれた。

御池鐵工所(小林由和 社長・広島県福山市神辺 町川南396の2)など が選ばれた。

御池鐵工所(小林由和 社長・広島県福山市神辺 町川南396の2)など が選ばれた。

御池鐵工所(小林由和 社長・広島県福山市神辺 町川南396の2)など が選ばれた。

## 中小企業 がんばる中小企業300社 農機業界からも選定

機能の農業機械の開発・製造で、農作業の負担軽減と安全性確保を実現」との評価で、創業以来一貫して農作業向け機械を開発。膨大なノウハウをもとに、機能設計、制御技術を組み合わせて、高機能の農業機械各種を国内外に送り出す、などと紹介されている。

和同産業は、「確かなニア等アフリカ諸国への国内で初めてヤマブドウ村大字大深山480)、

選ばれている。

御池鐵工所(小林由和 社長・広島県福山市神辺 町川南396の2)など が選ばれた。

御池鐵工所(小林由和 社長・広島県福山市神辺 町川南396の2)など が選ばれた。

御池鐵工所(小林由和 社長・広島県福山市神辺 町川南396の2)など が選ばれた。

御池鐵工所(小林由和 社長・広島県福山市神辺 町川南396の2)など が選ばれた。

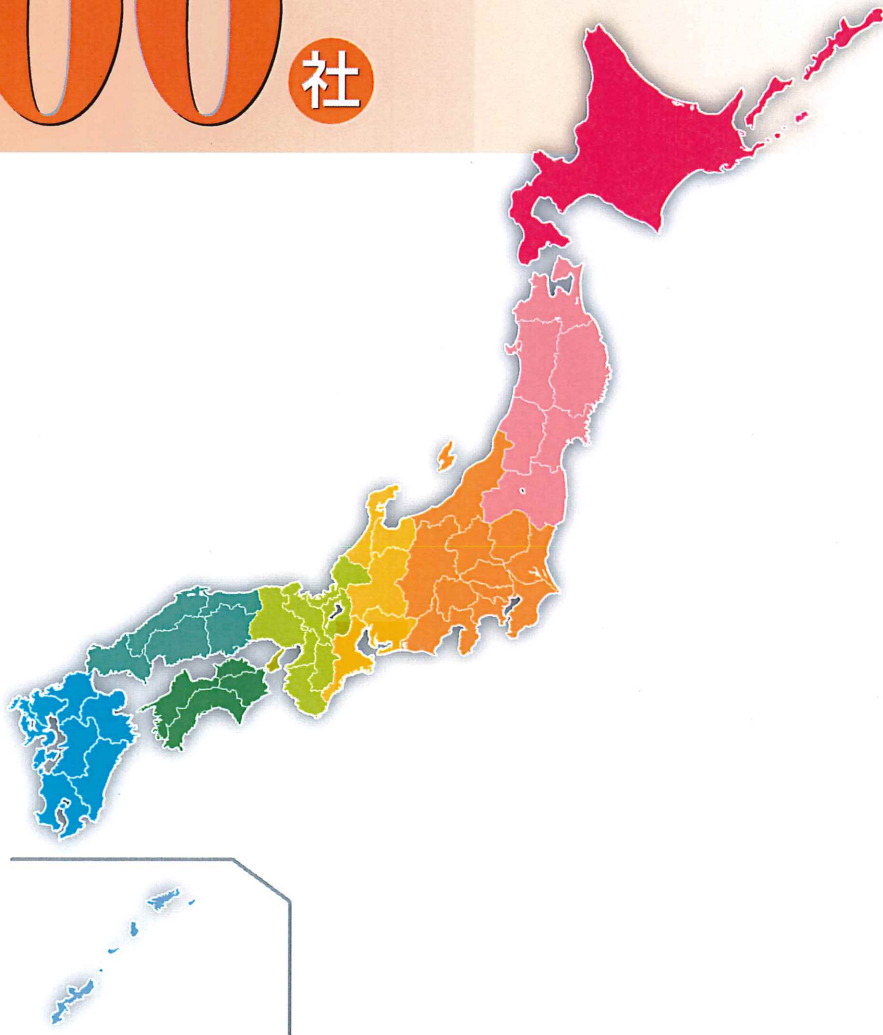
御池鐵工所(小林由和 社長・広島県福山市神辺 町川南396の2)など が選ばれた。

御池鐵工所(小林由和 社長・広島県福山市神辺 町川南396の2)など が選ばれた。

御池鐵工所(小林由和 社長・広島県福山市神辺 町川南396の2)など が選ばれた。

# がんばる 中小企業・ 小規模事業者

# 300社



●北海道

●東北

●関東

●中部

●近畿

●中国

●四国

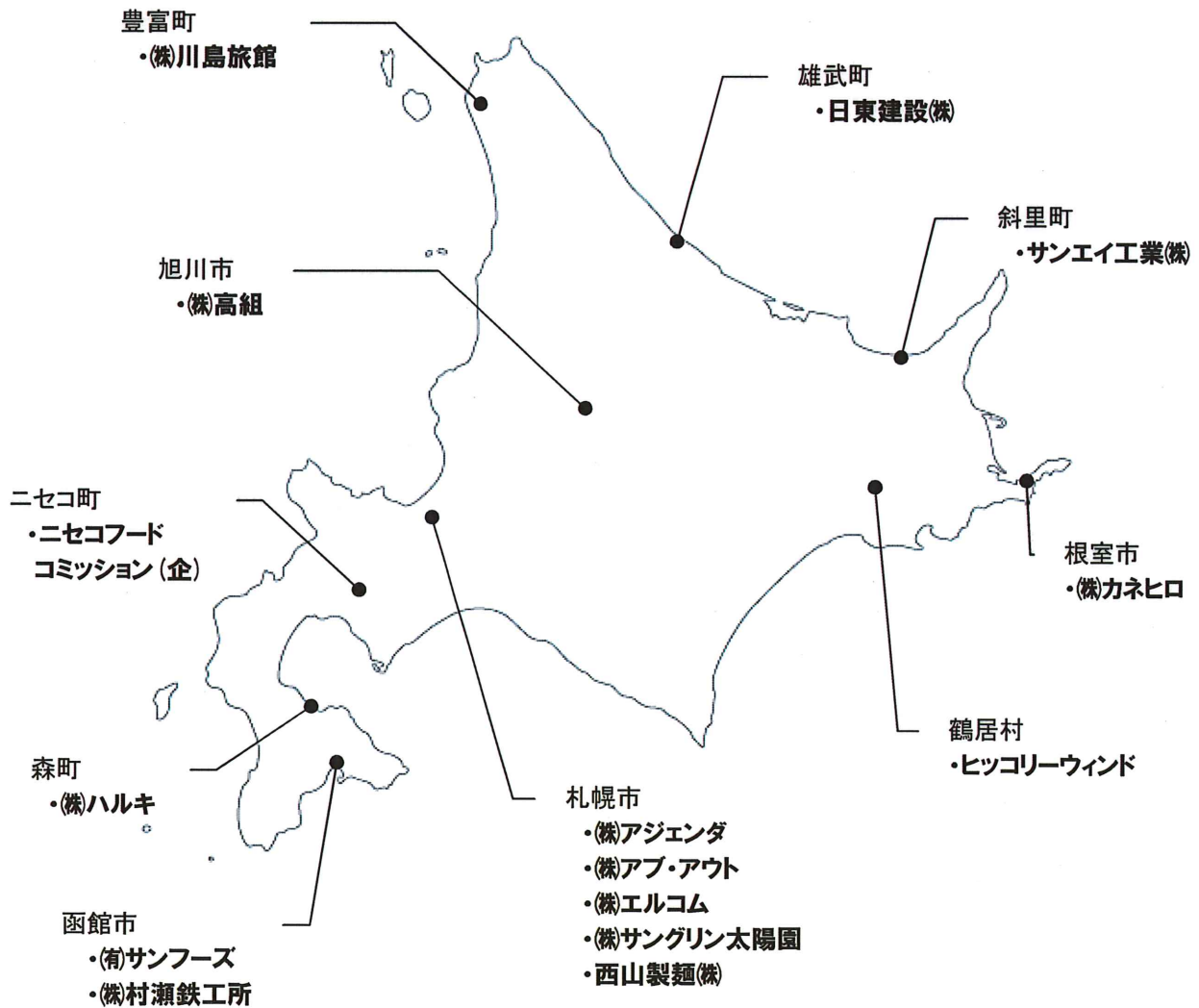
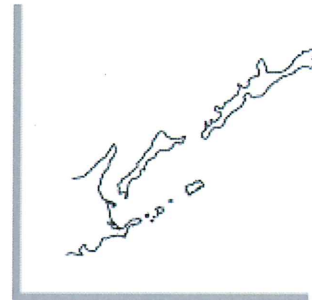
●九州

●沖縄

# 北海道

法人形態

(株)・株式会社 (有)・有限会社 (協)・協同組合 (企)・企業組合 (同)・合同会社





## 高機能の農業機械の 開発・製造で、農作業 の負担軽減と安全性 確保を実現

創業以来一貫して農作業向け機械を開発。膨大なノウハウをもとに、機能設計、制御技術を組み合わせ、高機能の農業機械各種を国内外に送り出す。

所在地：北海道斜里郡斜里町光陽町44番地17

TEL 0152-23-2173

FAX 0152-23-4133

URL : <http://www.sanei-ind.co.jp/>

代表取締役社長 毛利 剛

設立：1961年(昭和36年)

従業員数：34名

資本金：1,500万円



### 自動制御を搭載した2畦収穫型ハーベスターを国内で初めて開発

同社は、農業機械の製造及び輸入販売・農業機械の修理・農業機械の研究開発に取組、ニッチトップを目指す農業機械メーカーである。

同社は、自動制御を搭載した2畦同時収穫型ハーベスターを国内で初めて開発した。これによりじゃがいも収穫作業の高速化（3倍）が実現し、収穫作業の省エネにも貢献している。また、ハーベスターの掘取制御を自動化したことで、操縦に習熟していない人でも操縦が可能になり、生産者の負担が軽減された。さらに、効率・使い勝手が良く、安全な収穫作業が実現し、じゃがいもの打撲、傷が最小限に抑えられるなど、革新的な製品を開発している。



2畦ポテトハーベスター MS-5

### 2畦収穫型ハーベスターで農作業の効率アップと市場拡大が期待

国内にある約5,000軒のじゃがいも農家の5%が収穫機を導入すると、250台以上の市場規模（40億円）があると推測される。また、農業の大型化や生産者の高齢化により、掘取請負のニーズは高まると予想されている。同社は欧州連合加盟国の基準を満たす製品を対象としたCEマークを取得した他、農業機械の通信・制御の国際規格であるCAN-BUSやISO-BUSに対応した日本初のポテトハーベスターを開発している。また、海外展開の本格化を見込み、同社の海外部門を完全に独立。商社機能を専門とする「(株)EZOX」を設立している。



CAN-BUS

### 独創的な収穫機により条件が悪い収穫地での作業が可能に

同社の独創的な世界最小最軽量のミニ収穫機は、傾斜地、不整地、圃場枕地での稼働を可能にするとともに、作業の負担軽減に貢献している。



SS-1